中世末の金貨（蛭藻金）

奈良町遺跡　奈良市北室町

調査の概要　調査地は、南都七大寺のひとつ、元興寺の食堂の西側にあたり、また江戸時代には奈良町として発達してきたところにあたります。調査の結果、奈良・平安・鎌倉・室町・江戸時代の人々の生活のあとが見つかりました。

奈良時代の元興寺に関わる建物跡などは見つかりませんでしたが、調査地内からは古代の瓦が大量に出土しました。これらは鎌倉時代初めに掘られた東西南北約16m、深さ約20㎝の不整形な土坑などから出土しました。このことは周辺に瓦葺き建物が存在していたこと、その建物が鎌倉時代初めまでには壊れていたことを示しています。

室町時代になると、周辺は寺から町へと変化していったようで、当時の文献には「北室郷」の名で出てきます。

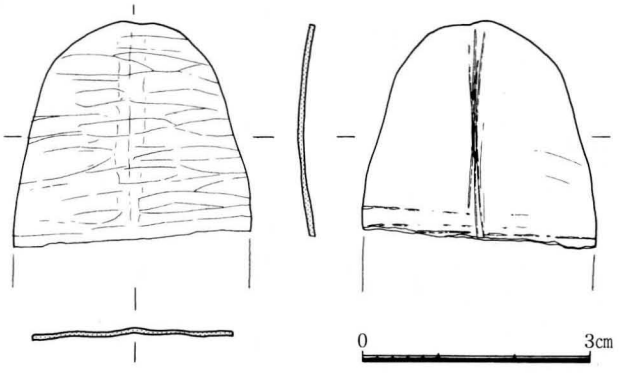
調査地では蔵が見つかりました。蔵の中は地面に穴を掘り大甕を据えていました。これらの甕は全部で46個以上あったことがわかりましたが、大半が抜き取られており、そのうち14個に大甕の下半分が残っているのみでした。大甕は常滑焼と備前焼の甕で、容量は2～3石（360～540ℓ）あり、その中には油等の液体が貯蔵されていたと考えられます。大甕の中には炭や焼けた壁土が入っており、この蔵が火災にあって失われたことがわかります。

江戸時代には、井戸が9基掘られていました。江戸時代中頃の1基を除き、他は江戸時代前半のものです。これらの井戸からは大量の土器と共に、鉄滓やフイゴの羽口、坩堝など鋳造関係の遺物が出土しており、周辺には金属生産の工房があったと想定されます。

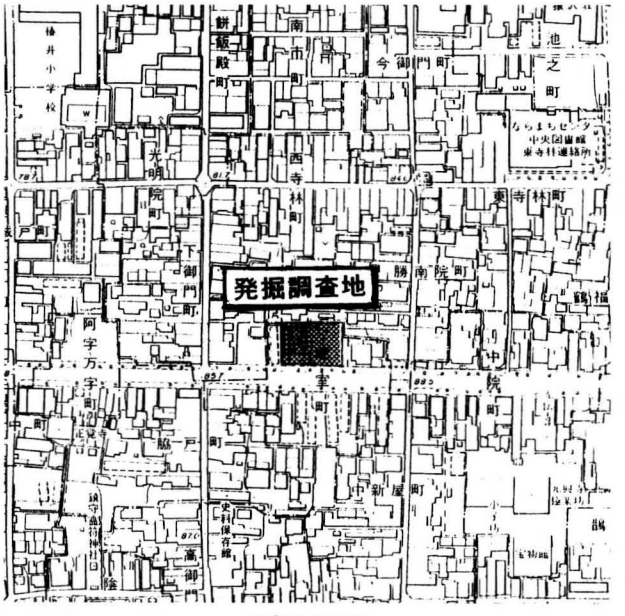
出土遺物は、土器、瓦類、銭貨などが遺物整理箱約250箱分ありました。特に古代の瓦、江戸時代の土器・鋳造関係遺物が多く出土しました。その他、蛭藻金1枚、銅銭14枚などがあります。

今回の発掘調査では、残念ながら奈良時代の元興寺の食堂に関する手がかりを得ることができませんでしたが、鎌倉時代以降の奈良町の変化を知る資料が多く得られました。

調査地周辺では鎌倉時代頃に寺から町へと変化し、特に室町時代には埋甕を約50基設置した蔵が建てられたことがわかりました。蔵が焼失した後、江戸時代の前半には金属生産を生業とした人々が住んでいたようです。



蛭藻金図



調査地位置図

蛭藻金（ひるもきん）について

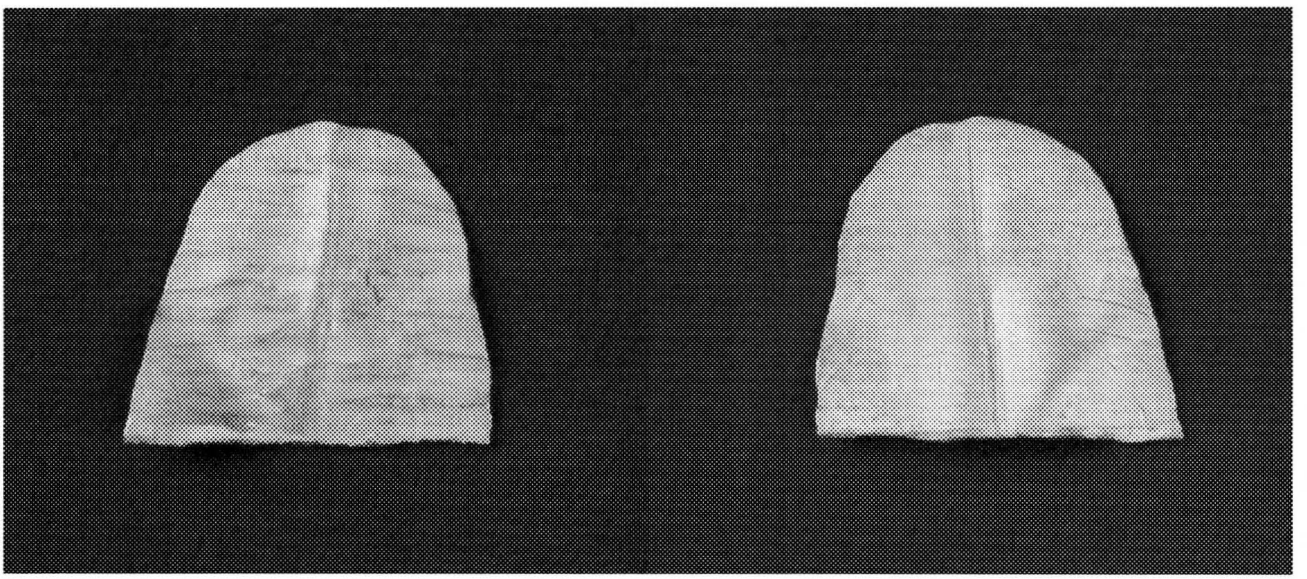
今回の発掘調査で特筆すべき遺物に、安土桃山時代の金貨「蛭藻金」が1枚あります。蛭藻金は金塊（きんかい）を叩き延ばして長楕円形の薄板状にしたもので、植物の蛭藻の葉の形に似ていることからそう呼ばれています。蛭藻金の表面には横方向のウロコ状の槌目（つちめ）が全面に施されていますが、裏面は槌目がなく平滑となっています。北室町出土の蛭藻金は、横方向に切り取られており、端部が半円形に残っています。残存している大きさは、長さ2.8㎝、幅3.1㎝、厚さ0.1㎝、重さ8.4ｇあります。火災で焼失した室町時代の蔵の上を覆っている層から出土しており、また、この層の上から17世紀初めの井戸が掘り込まれています。このことから、この蛭藻金は16～17世紀初め頃のものと考えられます。

これまで蛭藻金が出土しているところは、下表の通りです。発掘調査で出土したのは、今回が初めてです。近畿周辺で出土しているのは、安土城城下町遺跡と一乗谷朝倉氏遺跡の2箇所で、いずれも16世紀後半の遺跡です。これらの蛭藻金はいずれも完存した品で、切り取って使用された例は北室町出土品以外にありません。

蛭藻金は、江戸時代の慶長小判の先駆けとなるものの1つでありますが、その詳細は不明な点が多く、今回の発見は、中世末から近世初頭にかけての貨幣経済の変化を考える上で貴重なものと言えます。

蛭藻金一覧表

	場所	遺跡名	大きさ（㎝）		重さ	備考	供伴遺物
			縦	横	（g）		
1	山梨県山梨郡勝沼町上岩崎		5.10	2.40	13.13	2枚出土	碁石金16
2	長野県諏訪郡諏訪町久保	諏訪大社下社秋宮	9.57	4.57	62.78	「上」の刻印	碁石金31
			7.66	5.06	75.33		金製刀金具
			4.28	1.87	14.83	「上」の刻印	
			5.32	2.49	16.49	「上」の刻印	
			4.68	2.22	14.89	「上」の刻印	
			4.25	2.41	14.47		
			4.80	2.14	14.38	「上」の刻印	
			6.30	2.97	27.41		
			6.45	2.07	13.18		
			3.70	1.59	17.61		
			4.52	1.92	14.34		
3	滋賀県安土町	安土城下町遺跡	7.30		32.53	三つ星の刻印	
			6.10		15.72		
4	福井県	一乗谷朝倉氏遺跡	7.20	2.00	22.00		
5	奈良市北室町	奈良町遺跡	2.80	3.10	8.40		



奈良町遺跡出土　蛭藻金（左－表、右－裏）

発行　奈良市教育委員会　平成11年10月